

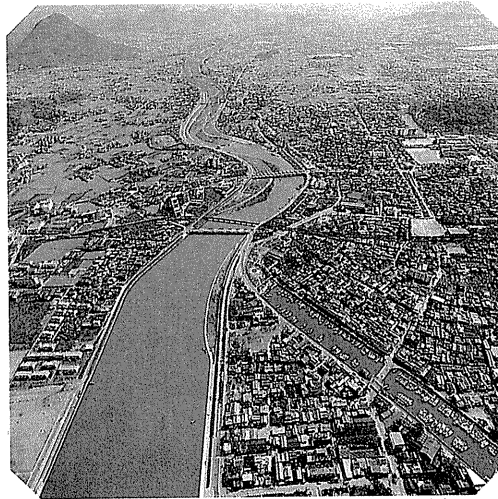
昭和43年
1968
▼
1977
昭和52年

出典：香川工事事務所60年のあゆみ（建設省四国地方建設局香川工事事務所）

ふるさとドネドネかわづくり

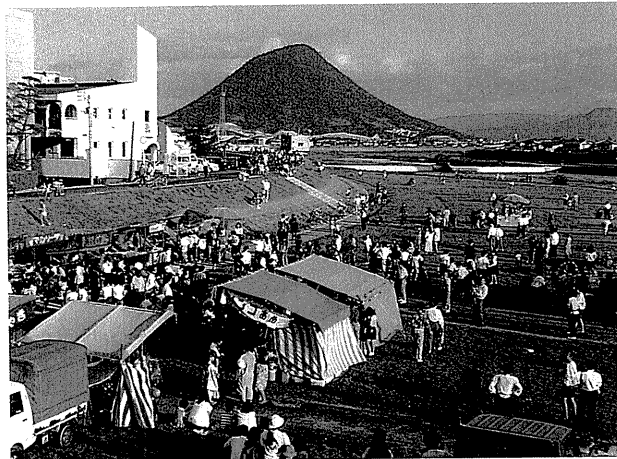


土器川を直轄管理 〈昭和43年〉



土器川が一級河川に指定され、河口より18.65kmが直轄管理区間となる
（昭和43年4月）（昭和56年撮影）

河川敷の多摩川、土器川、高瀬川の3河川にわたって、土器川に先行して、環境整備の一環だった。昭和47年



昭和46年事業着手し、昭和47年に完成した河川公園（丸亀市土器町・平成3年撮影）



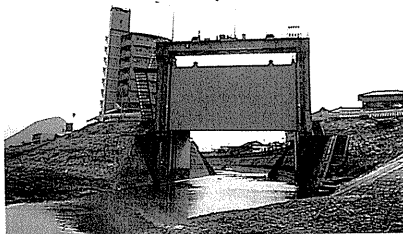
昭和50年8月22日の台風6号で乙井橋流失（満濃町）



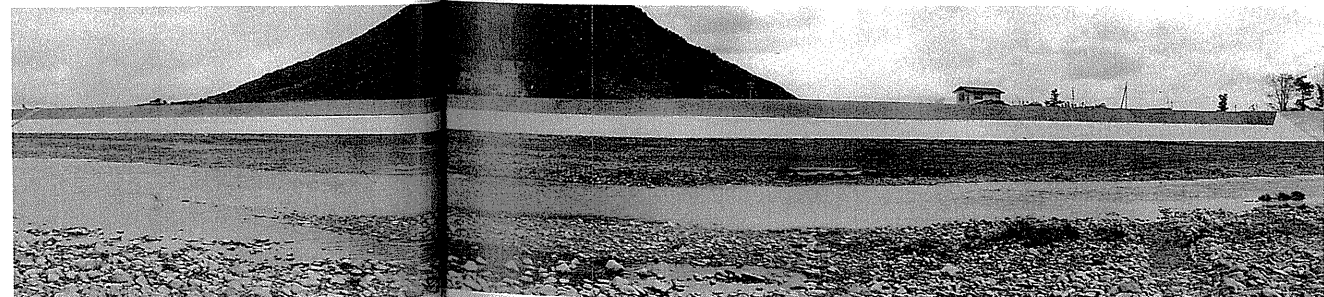
増水により破壊したブロック護岸（満濃町長尾地区）
（昭和50年8月22日）



土器川潮止堰建設事業に着手（昭和52年4月）



完成した土器川清水川水門（昭和47年8月）



土器川飯野合併工事700mが完成
（丸亀市飯野町、県道との合併工事）（昭和51年）

台風により昭和50・51年連続被災

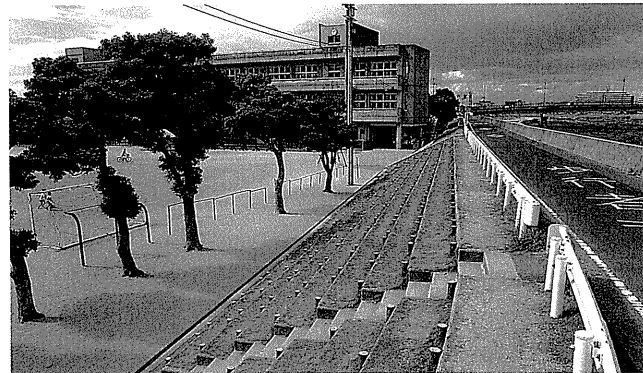
昭和53年
1978
▼
1987
昭和62年

出典：香川工事事務所60年のあゆみ（建設省四国地方建設局香川工事事務所）

土器川潮止堰が完成
（昭和54年）



昭和52年着手の土器川潮止堰が完成（昭和54年3月30日）



堤防にステップをつけて、城東小学校のグラウンドが見下ろせるスタンドの形は好評だった（昭和54年）（平成6年撮影）



完成した古子川樋門（昭和57年8月）

「魚が上流にさかのぼれる魚道をつけた堰は、土器川ではじめてだった」昭和54年

台風19号により被災
（昭和62年）



完成した土器川堤防（丸亀市垂水町地区）（昭和57年12月）



土器川成願寺堤防工事（昭和58年）



台風19号災害（昭和62年10月）



昭和62年10月台風19号による内水被害状況

昭和63年
1988
▼
1994
平成6年

出典：香川工事事務所60年のあゆみ（建設省四国地方建設局香川工事事務所）

飯野合併工事完成
（平成5年）



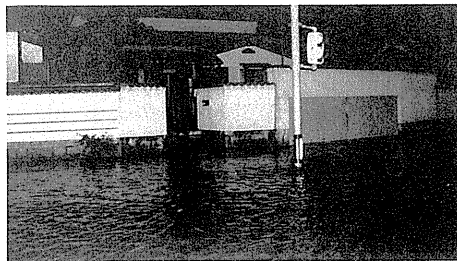
赤山川樋門完成（昭和63年11月30日）



飯野合併工事完成（高柳橋下流右岸）（平成5年3月）



平成2年9月19日の台風19号による内水被害状況（丸亀市）



平成2年9月19日の台風19号による内水被害状況（丸亀市）



平成3年12月吉野桜づつみモデル事業に着手。
平成5年3月、1期工事完了（満濃町吉野）

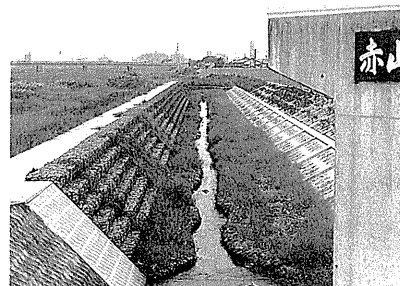


平成元年3月頃の親水護岸

親水護岸完成（平成4年3月）

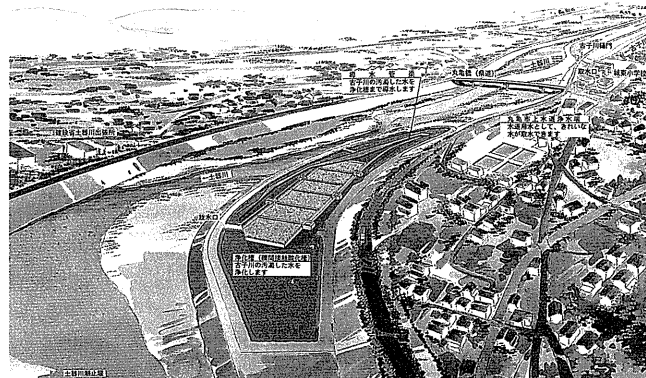


大規模自転車道完成（平成4年3月）

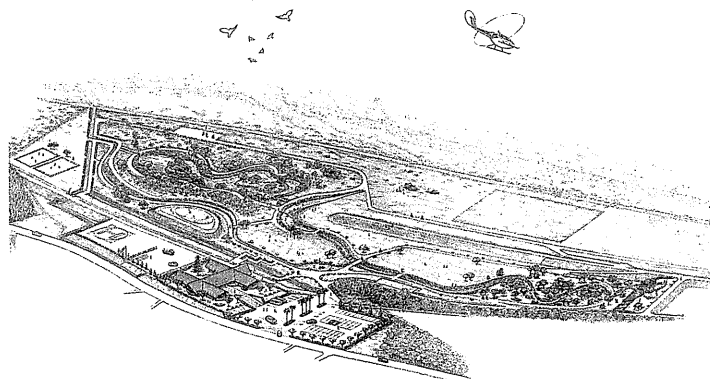


飯野護岸・多自然型川づくり（平成4年度完了）

「次の時代を担う子供たちのために、ふるさとの川づくりをめざしている」



古子川・河川浄化対策事業施工（平成5年10月）イメージ図
古子川の汚れた水を導水管で下流の地下浄化槽まで運び、隣間接触酸化法で浄化し河川へ戻します。



垂水地区・河道整備事業施工（平成5年12月）イメージ図
かすみ堤と出水を利用して、土器川の生物公園を作ります。
堤内側には自然科学館と防災ステーションを建設する計画です。

ふるさとドキドキかわづく!



垂水地区・河道整備事業着工
（平成5年）

洪水と水防

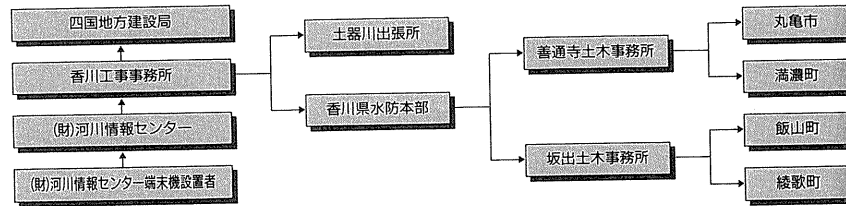
台風等の出水時における警報の発令は、過去のデータと上流の降水量を考慮して、蔽川橋の水位を基に行っています。

関係する県や、流域の関連市町との連絡調整のために、「土器川水防連絡会」を設置して、円滑、迅速に水防活動が行えるよう体制づくりがなされています。



水防訓練状況

水防警報の連絡系統（土器川水防連絡会）



土器川の水害の経緯

明治32年8月28日	被害は丸亀平野に集中、被害大	台風
大正11年9月21日	土居町、風袋町、瓦町一帯の民家浸水	大雨
大正7年9月14日	土居町、風袋町、瓦町、上金倉・下金倉の民家浸水	暴風雨
昭和13年9月5日	県下に暴風雨が来襲、死者17人	台風
昭和24年7月28日	県下に家屋浸水流出、堤防欠壊	ヘスター台風
昭和47年9月13日	護岸洗掘、護岸流出、高水敷流出	台風20号
昭和50年8月22日	護岸洗掘、堤防欠壊、高水敷流出 $Qp=1132m^3/s$	台風6号
昭和51年9月8日	護岸流出	台風17号
昭和54年9月30日	護岸崩壊、堤脚洗掘	台風16号
昭和62年10月17日	護岸洗掘、根固流出、高水敷流出	台風19号
平成2年9月19日	護岸洗掘、根固流出、高水敷流出 $Qp=1178m^3/s$	台風19号

事業年表

昭和8年(1933)

7/25 高松～屋島～八栗間観光道路設計書が完成(2箇年継続事業、長さ6,840㍍、巾10㍍、工費50万円)。

昭和9年(1934)

3/11 国道22号線改良事務所を高松港務所内に臨時開設し、高松～屋島間(高松市塩上町～木田郡木太村新開間は高松市都市計画街路中新町木太線の区間)の観光道路測量設計に着手。

5/1 内務省神戸土木出張所香川国道改良事務所を高松港務所内に設置。

6/7 高松～屋島間観光道路建設起工式を高松市塩上町青物市場西側広場で挙行。

8/1 国道22号線のうち、高松～屋島間観光道路改良工事に着手(昭和9年度事業費20万円、高松市塩上町の楠上橋～木太村洲端の詰田川橋西詰間延長1,675㍍、巾は塩上町のうち150㍍が15㍍、その他は10㍍)。

8/9 事務所を高松市塩上町に移転。

昭和10年(1935)

3/31 昭和9年度事業区間のうち、一部を残して完成。

5/11 国道22号線のうち、詰田川橋西詰～木太村東浜の春日川橋東詰間(春日川橋を除く)の改良工事に着手(昭和10年度事業費10万円、延長1,250㍍、巾10㍍)。

昭和11年(1936)

3/25 高松～屋島間観光道路のうち高松市塩上町～詰田川橋西詰間延長1,675㍍を国道として県に移管。

3/30 昭和10年度事業区間が完成。

5/21 国道22号線のうち、木太村東浜～屋島町西濁元間(春日川橋を含む)の改良工事に着手(昭和11年度事業費15万円、延長1,982㍍、巾10㍍)。

昭和12年(1937)

3/ 昭和11年度事業区間が完成(春日川橋を含む)。

4/ 国道22号線のうち、木田郡古高松村(銭場川)～同郡牟礼村(王墓)間及び新川橋の改良工事に着手(昭和12年度事業費17万円、延長2,170㍍、巾10㍍)。

昭和13年(1938)

5/ 県内80ヶ所で道路交通情勢調査を5月と10月の2回実施。

6/ 国道22号線高松～屋島間観光道路の改良工事を牟礼から業師堂まで延長し、13年度に改良を行う事にした(事業費4万5千円、延長630㍍、巾10㍍)なお、604㍍についてコンクリート舗装の試験施工(伸縮目地の長さ、舗装厚、配合等)を行った。

8/23 内務省は国道23号線高松～丸亀間の改良工事(6ヶ年計画)について14年度より事業着手について大蔵省要求を決定。

昭和14年(1939)

4/1 国道23号線のうち、高松市(西浜町)～丸亀市(南条町)間の改良工事が6箇年継続事業(延長25.3㍍、事業費150万円)として許可されたため事務所を高松市から綾歌郡宇多津町網の浦に移し、1期工事として丸亀～坂出間の改良工事に着手。

5/15 国道22号線の昭和13年度事業が完成。

6/7 国道23号線改良工事の起工式を宇多津公会堂で挙行(昭和14年度の改良区間は宇多津町新開～同町宇夫階間延長660㍍、巾10㍍)。

昭和15年(1940)

4/ 国道23号線のうち、宇多津町岩屋～同町青山間(延長1,502㍍)を15年度事業として着手。このうち岩屋～新開間延長720㍍について緊急施行を行う。

昭和16年(1941)

4/ 国道23号線のうち、宇多津町宇夫階～土器村界(延長640㍍)の改良工事を行う。

7/ 国道23号線聖通寺踏切(宇多津町岩屋)の平面交差除却について鉄道省と協議を行う。

昭和17年(1942)

4/ 国道23号線のうち、宇多津町岩屋(枝道工事)及び同町宇夫階付近の改良工事を行う。

8/ 国道23号線聖通寺踏切の除却について鉄道省と協議が成立(除却工事費約10万5千円)するが、資材不足のため着手せず。

昭和18年(1943)

4/1 内務省神戸土木出張所香川国道工事事務所に名称変更。

7/6 国道23号線改良工事につき丸亀市都市計画道路(土居土器内間線)を受託施行することについて承認を得る(詳細不明)。

8/28 国道23号線、綾歌郡宇多津町大東川橋架設工事(基礎はコンクリート、橋脚及び上部は木製、延長63㍍)が完成し、通初め式を挙行。

11/1 中国四国土木出張所の設置に伴い内務省中国四国土木出張所香川国道工事事務所となる。国道23号線のうち、丸亀市土器川左岸～同市南条町間の用地買収を行う。

昭和19年(1944)

資材、労力の供給不足のため国道23号線改良工事が休止状態(昭和19年度配賦額1万円、都市計画事業配賦額3千3百円?)となる。

昭和20年(1945)

12/25 国道23号線のうち、土器村～丸亀市塩飽町間(土器川前後)の改良工事を再開。なお、土器村内の改良工事は民間会社に発注。

昭和21年(1946)

9/ 国道23号線のうち、坂出市江尻町～同市宮下通間の改良工事に着手するが、諸物価高騰及び支障物件の移転困難により同年休止し、24年度より工事再開。

10/ 蓬萊橋(土器川)の架設工事(運輸省四国地方建設部に委託)に着手。

昭和22年(1947)

12/14 丸亀市風袋町に事務所(丸亀練兵場跡)を移し、引続き高松市～丸亀市間の改良工事にあたることが、改良箇所は前年に引続き蓬萊橋の架設工事と土器村の一部。

昭和23年(1948)

1/1 建設院中国四国地方建設局香川国道工事事務所となる。

7/10 建設省中国四国地方建設局香川国道工事事務所となる。

12/28 香川工事事務所に名称変更。

昭和24年(1949)

4/ 国道23号線のうち、坂出市南海岸町地区の改良工事再開、また、丸亀城外堀の埋立を東側からはじめ、24年にまづ風袋町、25年には南条町角まで、最後の26年には城西町まで、これを国道23号線に転用した。

7/15 国道23号線、丸亀市～土器村境の蓬萊橋が完成(長さ103㍍、巾7.5㍍)。

昭和25年(1950)

1/ 国道23号線のうち、土器村内の改良工事及び新内橋が完成。

4/ 国道23号線のうち、坂出市天神水門～臨港鉄道線間(運河埋立)の改良事業に着手。

昭和26年(1951)

国道23号線のうち、香西新橋(本津川)の架設工事及び香西村～端岡村間の改良工事に着手(28年に開催された国民体育大会までに完成)。

昭和27年(1952)

6/10 新道路法の制定。

7/12 国道23号線のうち、香西新橋が完成。

12/4 1級国道指定(1号から41号まで)。

昭和28年(1953)

5/ 国道11号線のうち、丸亀市通町～土器村産砂間(延長2㍍)のコンクリート舗装が完了(昭和27年度着手)、引続き宇多津町宇夫階～同町大東川間(延長1.9㍍)のコンクリート舗装に着手。

昭和29年(1954)

4/ 国道11号線のうち、坂出市鴨川～同市府中間の改良工事に着手。

5/20 第一次道路整備5箇年計画が策定された。

12/23 国道11号線のうち、綾川大橋(延長119㍍、巾9㍍)の架設工事に着手。

昭和30年(1955)

国道11号線のうち、坂出市田尾坂付近のコンクリート舗装が完了。

国道11号線のうち、端岡村内のコンクリート舗装(約1.9%)が完了。

11/ 国道11号線のうち、大川郡引田町～同郡津田町間(延長約32%)の測量作業に着手。

昭和31年(1956)

4/ 国道改良事業費が初めて1億円を超える。

坂出市前谷にコンクリートプラントを設置し、国道11号線の坂出～香西(高松市)間のコンクリート舗装にあたる。

10/25 国道11号線のうち、綾川大橋が完成。

昭和32年(1957)

4/1 香川国道工事事務所に名称変更。

7/16 担当区域の拡大に伴い事務所を高松市高松町に移し1級国道全線の整備に着手。

昭和33年(1958)

6/1 四国地方建設局の設置に伴い建設省四国地方建設局香川国道工事事務所となる。

6/2 国道11号線のうち、木田郡牟礼村～普通寺市金蔵寺間(42.1%)を指定区間として直轄管理。

8/17 国道32号線のうち、普通寺市内の舗装を単独舗装で着手。

昭和34年(1959)

4/11 国道32号線のうち、高松市兵庫町～普通寺市金蔵寺間(33.4%)を指定区間として直轄管理。

8/19 国道32号線のうち、轟橋(帰来川)を単独橋梁整備で施行。

昭和35年(1960)

7/ 国道11号線天野峠～羽立峠間の改良工事に着手。

昭和36年(1961)

2/19 国道11号線湊川橋が完成(延長120㍍)。

4/1 国道11号線高松市宮脇町で二次改築の開始。

4/25 国道32号線のうち、普通寺市金蔵寺町～同市大麻町間(5.9%)を指定区間として直轄管理。

10/ 国道11号線鳴部川橋完成(延長93㍍)。

昭和37年(1962)

2/13 香川国道工事事務所庁舎半焼。

5/1 国道11号線のうち、大川郡引田町～木田郡牟礼町(津田町津田～志度町鳴庄間除く)を指定区間として直轄管理を実施、同30号線の全線(1.1%)が指定区間として直轄管理。

8/ 国道11号線(高松市郷東町)と予讃線の立体交差を2箇年工事により着手。

昭和38年(1963)

4/1 香川工事事務所に名称変更。

4/6 香川工事事務所新庁舎完成(鉄筋コンクリート2階建)。

5/10 国道11号線のうち、徳島県境～大川郡引田町南野(これより大坂峠經由から鳴門市北灘經由となる)及び昭和37年度除外区間を指定区間として直轄管理。

10/30 国道11号線(高松市宮脇町)の高徳線の立体交差工事に着手。

12/18 国道11号線天野峠～羽立峠間の改良工事了。

昭和39年(1964)

4/1 国道11号線高松バイパスの調査を開始。

4/28 木田郡牟礼町以東～徳島県境間、国道11号線貫通祝賀式を大川郡引田町の県境で挙行(昭和32年着工)。

5/20 国道11号線のうち、普通寺市原田町～愛媛県境(一部区間を除く)を指定区間として直轄管理。

6/5 国道32号線琴平バイパスの改良工事に着手。

7/15 国道32号線猪ノ鼻トンネルが完成(阿波国道工事事務所管内)。

7/28 国道32号線阿讃県境猪ノ鼻・込野改良工事が完成し、開通式を挙行(徳島県三好郡池田町～三豊郡財田村間、昭和37年8月着工)。

9/17 国道11号線豊浜町箕浦改良工事に着手。

9/28 国道11号線高松市内高徳線の立体交差工事が完成。

昭和40年(1965)

1/ 道路交通安全施設整備路線のモデル路線として国道11号線のうち木田郡牟礼町～普通寺市金蔵寺町間約40%を選定した。(施設整備及び分析調査)

2/1 国道11号線宇多津跨線橋(国鉄予讃線)が完成。

2/ 琴平参宮電鉄の廃線敷を国道11号線に転用し、丸亀市風袋町の堀川西詰から城西町の十字路までの通りはこの国道の完成を記念して、「京極通り」と呼ぶようになった。

4/1 1級国道及び2級国道が一般国道となる。

5/27 国道11号のうち、昭和39年度除外区間のうち一部区間を除き、指定区間として直轄管理。また、高松市内の路線を変更したため、国道30号の指定区間が高松市北浜町から同市中新町間となった。

9/10 国道32号猪之鼻峠(管内)の改良工事が完成(徳島県側昭和41年11月28日)。

昭和41年(1966)

3/ 豊浜町箕浦地区の道路改良の完成により国道11号(管内)の一次改築が完了した。

3/26 国道11号宮脇横断歩道橋(高松市宮脇町)が完成(管内初めて)。

4/1 国道11号高松バイパスのうち、北バイパス(木田郡牟礼町～高松市亀井町間延長7.9%)の事業に着手。

4/1 「交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法」の制定、同年交通安全施設等整備事業3箇年計画が策定された。

5/30 国道11号及び同32号(財田村の一部を除く)が全線直轄管理となる。

8/23 琴平地区の道路改良の完成により国道32号(管内)の一次改築が完了した。

昭和42年(1967)

8/5 国道32号、33号(Vルート)の完工式を高知市において挙行。

10/ 国道32号の一部指定除外区間が指定区間となる。

昭和43年(1968)

4/8 土器川が1級水系に指定され河口より18.85%が直轄管理区間となる。

昭和44年(1969)

1/22 国土開発幹線自動車道の基本計画の決定(四国横断自動車道、高松市～川之江市)

4/1 国道11号高松南バイパス(高松市栗林町～坂出市府中町間延長11.9%)の事業に着手。

12/25 国道11号高松北バイパス第1期区間(高松市高松町～同市亀井町4.2%)の供用開始。

昭和45年(1970)

3/31 国道11号高松市屋島西町に斜路付横断歩道橋が完成。

4/1 県道高松琴平豊浜線のうち高松～琴平間国道32号に昇格。これに伴い普通寺市金蔵寺町～仲多度郡琴平町の国道32号は国道319号となる。また直轄維持管理区間に国道319号を追加、管内の管理延長は、162.6%となる。

8/14 台風9号により香川、徳島県境国道11号が冠水。

昭和46年(1971)

4/ 土器川環境整備事業に着手。

国道11号坂出丸亀バイパス(坂出市府中町～普通寺市中村町間20.4%)の事業に着手。

12/25 国道11号高松北バイパス第2期区間(木田郡牟礼町～高松市高松町1.2%)供用開始。

昭和47年(1972)

3/ 国道11号高松市栗林町にA型道路情報板を設置。

3/30 土器川の清水川水門完成

4/ 国道32号綾南バイパス事業に着手(高松市西山崎町～綾歌郡綾南町間9.1%)。

6/20 高速自動車道路法に基づく整備計画策定(四国横断自動車道、普通寺市～川之江市間36%)。

昭和48年(1973)

4/1 国道11号高松南バイパスのうち高松市勅使町～同市御殿町(3.6%)の供用開始。

4/ 国道32号円座バイパス事業に着手(高松市田村町～同市西山崎町間4.9%)。

4/ 国道32号満濃バイパス事業に着手(綾歌郡綾歌町～仲多度郡満濃町間4.6%)。但し、予算上の関係より53年度～57年度まで休止となる。

7/～8/ 高松地方が7月から8月初めにかけて、大湯水となる。

昭和49年(1974)

- 4/ 国道319号普通寺バイパス事業に着手(丸亀市原田町～普通寺市西原町間2.6*。)
- 4/ 国道11号天野峠登坂車線が完成。
- 5/30 水資源開発公団による香川用水が通水。
- 12/24 国道11号中新町地下横断歩道(高松市中新町)が完成。

昭和50年(1975)

- 2/20 国道11号栗林地下横断歩道(高松市栗林町)が完成。
- 4/9 国道11号高松南バイパスの供用開始(高松市栗林町～同市勅使町間4.0*。及び高松市御既町～坂出市府中町間4.4*。)
- 8/23 台風6号により土器川被災(被害額約12億円)。

昭和51年(1976)

- 3/30 土器川飯野合併工事(高柳橋より下流700m)完成。
- 9/8 台風17号により大内町内の国道11号に被害。

昭和52年(1977)

- 4/ 土器川潮止堰建設事業に着手。
国道30号高松港頭地区の拡幅事業に着手。

昭和53年(1978)

- 7/28 国道11号坂出丸亀バイパスの金山トンネル貫通(上り線480m、昭和53年1月26日着工)。
- 12/21 国道11号高松東バイパスの都市計画決定(大川郡津田町～高松市上天神町間24.5*。)

昭和54年(1979)

- 2/20 国道11号ハゼ町地下横断歩道(高松市東ハゼ町)が完成。
- 3/30 土器川潮止堰完成。
- 4/2 国道11号坂出丸亀バイパスのうち、丸亀市飯野町～同市原田町(3.9*。)の暫定供用開始。

昭和55年(1980)

- 3/10 通信用鉄塔(高さ44.3m)完成。
- 3/15 国道11号坂出丸亀バイパスのうち綾歌郡宇多津町～丸亀市飯野町(2.1*。)の暫定供用開始。

昭和56年(1981)

- 4/ 国道11号高松東バイパスのうち高松市林町～同市上天神町間3.3*。を高松道路として事業に着手。

昭和57年(1982)

- 3/5 国道11号坂出丸亀バイパスのうち綾歌郡宇多津町～坂出市西庄町(5.9*。)の暫定供用開始。
- 3/6 国道32号綾南バイパスのうち、綾歌郡綾南町滝宮～綾南町小野(1.3*。)の暫定供用開始。
- 6/30 土器川古子川樋門完成。
- 12/11 国道11号高松南バイパスのうち、高松市勅使町～同市檜紙町(2.0*。)が完成断面により供用開始。
- 12/16 国道32号綾南バイパスのうち、綾歌郡綾南町陶～綾南町滝宮(3.2*。)の暫定供用開始。
- 12/20 土器川垂水堤防完成。

昭和58年(1983)

- 2/17 国道11号坂出丸亀バイパスのうち、坂出市加茂町～同市西庄町(1.2*。)の暫定供用開始。
- 3/25 土器川川西堤防完成。

昭和59年(1984)

- 3/6 国道11号坂出丸亀バイパスのうち、坂出市府中町～同市加茂町(2.7*。)の暫定供用開始。
- 3/28 国道11号高松南バイパスのうち、高松市檜紙町～同市御既町(1.2*。)が完成断面により供用開始。
- 5/1 香川工事事務所開設50周年を迎える。
- 12/18 国道32号円座バイパス(高松市円座町～西山崎町間2.1*。)の暫定供用開始。
- 12/24 国道11号高松南バイパス(高松市檜紙町～坂出市府中町間4.1*。)の完成供用により全線完成供用。

昭和60年(1985)

- 2/ 予備線土器川改築工事に着手。
- 12/4 大規模自動車道(環境整備と自転車道の合併)の工事開始。

昭和61年(1986)

- 10/ 土器川河川環境管理協議会発足。
- 12/ 国道11号のクリエイティブ事業として高松中央通りでキャブ工事に着手。

昭和62年(1987)

- 5/27 土器川水防演習実施(丸亀市土器町地区)。
- 10/17 台風19号災害 祓川橋地点流量 $Q=473\text{cm}^3/\text{s}$ (台風災害:被災13ヶ所)
- 12/10 国道319号普通寺バイパス(普通寺市原田町字土居～南五条間1.7*。)の完成供用開始、(普通寺市原田町字南五条～西五条間0.4*。)の暫定供用開始。
予備線土器川橋梁完成。

昭和63年(1988)

- 4/10 道路情報室開所。
瀬戸大橋開通。
- 3/24 国道32号円座バイパス(高松市勅使町～高松市円座町間1.6*。)の暫定供用開始。
- 10/19 番町地下道起工式
- 11/30 赤山川樋門完成。

平成元年(1989)

- 3/ 土器川環境基本計画策定。
JR複線化に伴う架設及び嵩上工事完成。
- 12/20 国道319号普通寺バイパス(普通寺市原田町字南五条～西五条間0.4*。)の完成供用開始。
- 12/ 国道11号高松東道路(上天神～医大前)工事着手。

平成2年(1990)

- 2/15 クリエイティブ高松中央通りプロムナード(番町地下広場等)供用開始。
- 3/26 国道32号円座バイパス(高松市田村町～円座町間3.2*。)の完成供用開始により円座バイパス全線供用。
- 3/26 土器川工事実施基本計画改定。
- 3/ 飯野合併工事(赤山川樋門より上流800m)完成。
- 9/19 台風19号災害 祓川橋地点流量 $Q=1,178\text{m}^3/\text{s}$ (台風災害:被災8ヶ所)

平成3年(1991)

- 4/12 前の川ダム実施計画調査着手、前の川一級水系指定し、ダム区間2.5*。を直轄管理区間とし、ダム事業及び維持管理実施。
- 5/15 土器川水防演習実施。
- 12/27 吉野桜づつみモデル事業に着手。

平成4年(1992)

- 3/25 国道319号普通寺バイパス(普通寺市原田町西五条～与北町京免間0.5*。)の完成供用開始により普通寺バイパス1工区全線完成供用。
- 3/31 親水護岸 $L=2.4*$ 。(高柳橋～国道丸亀大橋)完成。
- 9/28 国道32号綾南バイパス(高松市西山崎町～綾歌郡綾南町陶間4.6*。)の暫定供用開始により綾南バイパス3工区全線暫定供用。

平成5年(1993)

- 3/31 吉野桜づつみ1期工事完了。
飯野合併工事(赤山川樋門より下流500m)完成し合併事業が完了。
- 9/3 国道11号高松東道路(高松市上天神町～同市東山崎町間5.6*。)の暫定2車線供用。
- 10/1 飯野地区水辺創成型多自然護岸着工。
古子川河川浄化対策事業着工。
- 12/28 垂水地区河道整備事業着工。

平成6年(1994)

- 3/29 四国横断自動車道(高松市上天神町～同市檜紙町間3.9*。)を道路公団より受託。
- 3/30 国道11号高松東道路(高松市東山崎町～同市前田西町間1.3*。)の暫定供用開始。
- 12/ 国道11号高松東道路(高松市前田西町～同市前田東町間1.1*。)の供用で全区間供用予定。